

# 『理解を深めよう 視力検査 屈折検査』 正誤表

(第1版第1刷～第3刷)

下記の通り誤りがございました。訂正し、お詫び申し上げます。

2014年7月14日 金原出版株式会社

ページ	位置	誤	正
86	上 図6-3 タイトル	Zernike多項式のパターン <sup>4)</sup>	Zernike多項式のパターン(文献番号削除)
	上 図6-3 上部左	「眼鏡で矯正可能」	「眼鏡で矯正可能」を矢印ごと削除
	左段 8行目	1次はプリズムで矯正可能な成分、	1次はプリズム成分、
87	右段 下から9行目	数値「2.15(D)」	数値は正乱視の半分の値を示しているため 「2.15(D)×2」
88	上 図6-5 解説文 1行目	正乱視成分の度数を	正乱視成分の度数の半分を